八王子市立第三小・第四小・第十・大和田小学校

子どもの囲碁教室だより

82 号　2023 年 7 月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com
ブログ　https://naritas.jp/wp1/
八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

◆ 7 月の子どもの囲碁教室の日程

- **第三小学校**：7 月 4 日、11 日、19 日
  毎週火曜日　2 時 30 分～　四階 家庭科室
- **第四小学校**：7 月 3 日、10 日
  毎週月曜日　1 時 30 分～　二階 ひらめき教室
- **第十小学校**：7 月 7 日、14 日、21 日、24 日、25 日、26 日、27 日、28 日　2 時 30 分～　一階 家庭科室
- **大和田小学校**：7 月 5 日、12 日、19 日　毎週水曜日　午後 2 時 30 分　二階　図書室

お待たせした大和田小学校での囲碁教室が再開です。第十小の教室は夏休みの 24 日から 28 日の間も開きます。

◆ ピーナッツ(Peanuts) その 2

チャーリー・ブラウンはスヌーピーの飼い主であり、妹はサリー(Sally)。両親はいるようですが、他の大人と同様作中には姿を見せません。親友は毛布を片時も手放さないライナス(Linus)。級友であるルーシーにいつも小煩く言われたり丸め込まれたりします。チャーリーという名前から、読者からはよくチャールズ・シュルツの分身と思われたようですが、チャーリー・ブラウンという名前はシュルツの美術学校時代の級友からきているといわれます。

ただ、シュルツはインタビューで「チャーリー・ブラウンは僕自身でもあるんだ」と答えたことがあるようで、彼の持つ気苦労などがチャーリー・ブラウンに反映されたりすることはあると述懐しています。シュルツの父親は床屋を経営していました。シュルツによればチャーリー・ブラウンはきれいな金髪であるために髪が薄く見えるだけで、丸坊主ではないそうです。実際の作画でも前髪と後頭部の毛が描き込まれ、濡れ髪では実線で描かれています。スヌーピーにいわせれば、主人のチャーリー・ブラウンあくまでも「丸頭の子」（round-headed kid）であり「禿頭の子」ではありません。

チャーリー・ブラウンは、自他共に認める冴えない人柄であり、とにかく女運が悪く、ヴァイオレット(Violet)やルーシーなどの女子の「いじめ」相手になっていた時期もあります。考え方にもどこか卑屈なところがあって、敗者や弱い立場の人たちに同情することが多い子です。他者への思いやりは人一倍強く、いつもはチャーリー・ブラウンをいびるルーシーも彼が病気になると落ち着きをなくすのです。「赤毛の女の子」(little red-haired girl)に片想いし、後にサマーキャンプで出会ったペギー・ジーン(Peggy Jean)と恋仲になりますが、いずれも報われないまま終わったり、自分だけバレンタインカードが貰えなかったりします。友達のライナスには好きな女の子を奪われるなど、恋愛運は悪いのがチャーリー・ブラウンです。

チャーリー・ブラウンは、なにをやらせても不器用で、特技がないことが特徴ですが、スペリング・ビー(spelling bee)（スペルの暗記大会）では非常な努力と才能で学校一となり、ナショナル・リーグに出場したこともあります。またビー玉遊びでは、ゲームに小さい子どもや女の子を騙してビー玉を巻き上げていた”ビー玉のジョー”に真っ向勝負を挑み、ビー玉を全て取り返えす熱血漢でもあります

チャーリー・ブラウンが幼いころ、砂場で遊んでいる最中にほかの子に頭から砂をかけられて大泣きし、翌日両親から買い与えられたのがビーグル犬スヌーピーとの最初の出会いです。餌を与える行為以外では一緒にゴルフをしたりカヌーを漕ぎに行くなど完全なパートナーです。スヌーピーを飼い犬としてだけでなく、何よりも大切な存在と思っていて、彼のために学校を辞めようとしたことすらあります。肝心の本人からは「丸頭の子」と認識されていて、名前すらまともに覚えられておらず、また主人と飼い犬との立場を入れ換えるような会話をしていたときもあります。その時スヌーピーが「ぼくが主人とばかりに思っていたけれど」とチャーリー・ブラウンに対して発言したこともあるくらいです。

◆

『話の泉ー笑い』と題してジョークやユーモアをとりあげています。ピーナッツの漫画も笑いで紹介しています。　**https://naritas.jp/wp1**